

備前支部司書部会 H29 年度第 4 回ワークシート まとめ

読書格言・名言を使った取り組みを考えてみた。

ハリネズミグループ（岡山南・倉敷翔南・西大寺・岡山朝日・邑久）

【取り組み名】《ブラバンで読書名言ストラップ》

【実施時期・期間】未定

【実施担当者・協力者など】司書、絵心のある生徒、字のうまい生徒（へたうまな絵や字も味があってよい）

【準備物】・印刷できるプラバン 百均にもある

セリア>クラフトプラバンB5サイズ（透明）1枚入り

ダイソー>キュコットプラバン ハガキサイズ（白色）3枚入り

・蓄光パウダー／・レジン液／・金具

【実施目的】需要のある景品づくり

【取り組み内容・方法】

① 読書名言を選ぶ ←部活とコラボ、先生方とコラボで、〇〇さんが選ぶもあり

② イラストを募集する ←部活、勉強（科目）コラボイラスト

③ 名言を手書きしてもらう

④ データ化し、①、②、③を組み合わせる

⑤ プラバンに印刷

切る、オーブンで焼く、レジンを盛る、金具を付ける

⑥ 完成

景品にする、ガチャにする etc.

・部活シリーズでガチャ（テニス部が欲しいのに当たらん！といったように欲しくなる景品に）

・教科別名言シリーズ

・先生別名言シリーズ

・学校独自の〇〇が選ぶ

・各学校で共通するものは、絵は〇〇高校生徒作品、字は△△高校生徒作品、と学校を越えて一緒に使える作品が作れる

- ・データ化しているので、一つ作れば、量産が可能

【問題点など】

- ・プラバン、レジンなど、経験のない人にはよくわからない部分もある。教えてくれる人がいると良い（講師可能）
 - ・材料費がかかる
 - ・ガチャの本体は？→ネットで段ボールなどで作る方法が紹介されている
 - ・ガチャのカプセルは？→お店の前に『ご自由に』と持ち帰り可のものがある場合も

【その他、グループの話し合いで出た意見】

- ・図書委員に各自で名言を見つけてもらう作業の際、何人かの生徒はネットで検索しただけと思われる言葉を提出した。用紙に『どの本に載っている言葉』だけでなく『Opにあり』というページ数まで書いていたら、実際の本から探す生徒の数が増えたかもしれない。
- ・学校外で利用する場合、著作権の問題がある。県立図書館のティーンズコーナーへの展示を考えたが、時間が間に合わなかった。
- ・『書道部に名言を書いてもらう』作業は、こちらが予想していた以上にハードルが高いようで方法を模索中。印刷した文字を見て自分でバランスを考えて書く、というのが難しい。書道の先生がお手本が必要かもしれない、と考えてくださっている。
- ・うちの制作方法は、オレンジページ2017.8.17号
- ・部活キャプテンの好きな言葉は部活動紹介にもなる。／生徒会とのコラボ／図書委員が所属している部活
- ・返却スリップの活用について。
 - 裏面にくじを付ける
- 返却スリップを今まで挟んでいなかった。返却スリップを使うのは面倒では？→今までやっていなければ、貸出・返却時（挟んだままの本もある）の作業が増えるので、確かに手間はかかる。返却期限が確実に伝えられるメリットもある。